

しあわせのたね



あさの まさこ

しあわせのたね

そらは あおくすんで
やさしい かぜが ふいています
しろいくもが ひとつ・・・ぽっかりと
うかんで います
まるで おひる しているように



しあわせのたね

のはらには ちっちゃな おんなのこが ひとり

なまえは ひかり

そらが だいすきで だいすきで

きょうも くもといっしょに あそんでいました



しあわせのたね

すると そらから なにかが おちてきて

てのひらに ちょこんとのりました

するとどうでしょう

ぽかぽかと あたたかく なりました



しあわせのたね

おひさまに かざしてみると ぴかぴかとかがやいた たねでした

ひかりは ” きれい！！ ”とつぶやき

ぎゅっとにぎりしめました

そして だいに おうちに もってかえりました



しあわせのたね

さっそく たねをうえました

まいにち せっせと おみずを あげました

すると ちいさな ふたつのはっぱが **ぽん！！**

ひかりは すこし うれしくなりました



しあわせのたね

こんどは おおきいはっぱが ぽん！！ぽん！！

ひかりは ” もっと おおきくな～れ”と いのりました

はっぱが たくさんになったころ あおむしくんが はっぱを むしゃむしゃ

ひかりは それをみて あおむしくんに やさしくいいました

” いっぱいたべて きれいなちょうちょさんになってね” と

つぎのひ あおむしさんは いませんでした

こんどあうときは うつくしいちょうちょさんに へんしんしていることでしょう

はっぱはいっぱいになりました

はるのおわり的时候了



しあわせのたね

あつい あつい なつをのりきったころ

はっぱのなかで ぽん ぽんと おとがきこえてきました

ひかりが めをやると そこには いつのまにか きいろい ほしがたの はながさい
ていました

それは まるで こんぺいとうのようです

それに あまいかおりが しています



しあわせのたね

きいろいはなは よるになると つきのひかりで きらきらと かがやきました

まるでほしのようでした

ひかりは それをじっとみつめました

すると そのなかに ひときわひかる おおきなはなが めにとまりました

そこだけ きんいろに かがやいていたからです

ひかりは **とても やさしい きもちになりました**



しあわせのたね

おおきな はなのなかは **はーと** のかたちの

ちいさな み が ちょこんとついていました

あっというまに おおきくなりました

そして ぴんくいろに いろづいたころ とてもよいかおりが

してきました

ちょうど **やきあがりのくっきー** のかおりでした



しあわせのたね

かおりに さそわれて

とりや どうぶつたちも あつまってきます

そして すこしづつ いろんなところに はこんでいきました

とりはそらを どうぶつたちは もりをかけぬけ たねを おとしました

さいしょに ひかりが たねを てにしてから どれほど たったころの

ことでしょう



しあわせのたね

ひかりが そだてた ひとつぶのたねは

もりや はやし に かわりました

そして たくさんの ひとたちのてで

せかいじゅうに ひろがって いきました

うけとった ひとたちは てのなかに あたたかさを

かんじるだけでなく ころろのなかにも **ぽわん** と

やさしい **ひかり**が やどっていきました

そして つぎつぎと **つながって** いったのです



しあわせのたね

また どれほどたったのでしょうか？

ひかりのところに たねが もどって きました

そのたねは たくさんの ひとのてをとおして

しあわせのたね といわれるように なっていました

あなたのところにも とどいていますか？



しあわせのたね

<http://p.booklog.jp/book/79847>

著者 : sikisai3

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/sikisai3/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/79847>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/79847>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ